

平成29年度新大崎市民病院改革プランの実績評価

1 目的

新大崎市民病院改革プランでは、年度ごとに評価・点検を実施し、2020年度の目標達成に向けて改善を実施することとし、その評価・点検については、有識者や市民代表で構成された大崎市民病院事業外部評価検討会議にて、客観的に行うものです。

2 医療機能など指標に係る数値目標 (新大崎市民病院改革プラン P19)

ア 達成状況

項目	目標	実績	達成状況		取組内容
	A	B	項目	達成率	
				B/A×100	
①紹介率	65%以上	67.7%	達成	104.2%	他の医療機関に対し、小児科への紹介状作成依頼を行った。また紹介状を持参の方を優先とする運用を開始し、来院される方への周知を行った。地域医療連携室の担当医師による医療機関の訪問を実施した。PET-CTやSPECTの利用増加を図るため、放射線診断医による医療機関の訪問を実施した。
②逆紹介率	50%以上	78.7%	達成	157.4%	地域の歯科医師と全身麻酔手術前検査の連携を構築し、実施した。地域の医療機関と連携推進を図るため、逆紹介の運用徹底の院内周知を行った。従来からの大腿骨、脳卒中及びがんに加え、心不全及び経過観察の本院と地域の医療機関との連携した治療計画（地域連携クリニカルパス）を作成し、運用を行った。
③在宅復帰率	75%以上	86.2%	達成	114.9%	入退院管理室の体制の強化を図り、患者さんが退院後に住み慣れた自宅や在宅復帰のためのリハビリを行う専門病院への転院等、各種関係

					機関間での連携推進や、院内全職種の職員が患者さんの情報を共有し、地域の医療機関や介護事業者等に適切な情報提供を行った。
④手術実施症例1件あたりの外保連手術指数	12.99以上	13.53	達成	104.2%	手術指数の高い症例の実施や日帰り手術の実施を行うため、医師や看護師確保・育成を継続して行った。
⑤特定内科診療対象件数	115症例以上	398症例	達成	346.1%	重症度の高い内科系疾患（特定内科診療対象件数）の受入を行うため、医師や看護師確保・育成を継続して行った。

イ 結果（評価）

紹介率及び逆紹介率は、院内の協力体制を得て、地域医療機関向けに運用を積極的に周知し、実績の向上に努めました。また、地域との役割分担を推進するため、地域連携クリニカルパスを新たに作成・運用を開始し、目標を達成することができました。なお、地域医療支援病院として宮城県知事より承認を受けている当院としては、その役割を十分に認識し、一層、医療連携の充実を図ることが必要と考えています。

在宅復帰率は、院内連携のみならず、地域の医療機関や介護施設との連携推進が図られたことにより、目標値を達成しています。病気になっても住み慣れた地元での暮らしを大事にしていきたいというニーズが今後も大きくなっていくことから、引き続き関係機関との連携を更に強化するとともに、平成30年度からは、外来の時より入退院支援を行い、在宅復帰率の更なる向上に努めます。

DPC 特定病院群の要件でもある手術実施症例1件あたりの外保連手術指数及び特定内科診療対象件数については、手術指数の高い症例や重症度の高い症例を実施できる体制が整いつつあることもあり目標の達成となりました。当市のみならず県北全域の高次医療を担う当院の診療体制や医療の質、また、その取組みが全国的に評価されたと考えています。高次医療の提供や、医師をはじめ医療従事者の教育施設として、人材の育成を更に推し進めていきます。

今般の取り組みについては、平成30年度以降も目標を達成するべく、本院マネジメント会議等で情報共有を図りながら、継続的に実施していきます。

3 経営効率化 主な取り組み内容

(1) 収入増加・確保対策（新大崎市民病院改革プラン P20）

ア 達成状況

項目	区分	目標	実績	達成状況		取組内容
		A	B	項目	達成率	
					B/A×100	
① 7：1 看護体制の確保	本院	継続	継続	達成	100.0%	病床の稼働状況等に合わせて人員配置の見直しを行い、看護体制の確保に努めた。また、ガイダンスや学校訪問、奨学金の貸付などにより、看護師の確保に努めた。
② DPC II 群の指定継続	本院	継続	継続	達成	100.0%	4つの指定要件のうち、外保連手術指数の目標達成により、DPC 特定病院群（旧 II 群）の継続となった。 ※平成 30 年度の診療報酬改定により名称変更
③ 総合入院体制加算 2 の取得	本院	実施	実施	達成	100.0%	平成 29 年 3 月に、(公財) 日本医療機能評価機構の認定を受けたことにより、施設基準を満たしたため、同年 4 月より加算を取得した。 なお、本加算 15 要件の中でも、①精神疾患症状を有する、特に救急入院患者への精神科医の介入、②逆紹介率 4 割以上、③看護必要度 3 割以上の安定継続達成が課題となっており、医師・看護師・事務等が勉強会を通して意識共有を図り、看護必要度の評価漏れ防止の徹底や診療実績との差異を減少させるべく運用の見直しを行った。
④ 退院支援加算 1 の取得	本院	実施	実施	達成	100.0%	退院調整看護師や社会福祉士の配置を行い、平成 29 年 4 月から算定を開始した。同年度は 2,624 件の算定を行った。
⑤ 認知症ケア加算 2 の取得	鳴子	実施	実施	達成	100.0%	平成 29 年 3 月から算定を開始した。同年度は看護職員の研修受講を計画的に実施し、算定継続に向けた体制整備を行った。
	岩出山	実施	実施	達成	100.0%	平成 29 年 2 月から算定を開始した。同年度は看護職員の研修受講を計画的に実施し、算定継続に向けた体制整備を行った。
	鹿島台	実施	実施	達成	100.0%	平成 28 年 10 月から算定を開始した。平成 29 年度は看護職員

						の研修受講を計画的に実施し、算定継続に向けた体制整備を行った。
⑥後発医薬品体制加算の取得	鳴子	実施	実施	達成	100.0%	平成29年7月から算定を開始した。取得後も後発医薬品項目の情報収集及び後発医薬品目への切替えを実施した。
	岩出山	実施	実施	達成	100.0%	平成29年9月から算定を開始した。取得後も後発医薬品項目の情報収集及び後発医薬品目への切替えを実施した。
	鹿島台	実施	実施	達成	100.0%	平成29年4月から算定を開始した。取得後も後発医薬品項目の情報収集及び後発医薬品目への切替えを実施した。

イ 結果（評価）

DPC 特定病院群の指定継続や新たな加算の取得は、早期から準備・取組みを行った結果、目標を達成することができました。7対1看護体制の確保についても、要件を満たしていますが、産前産後・育児休暇等により体制の維持に苦慮しています。また、本院においては、500床の許可病床のうち稼働できていない病床があることから、引き続き看護師の確保に努めます。

また、分院においては、認知症を合併する患者への取組みや後発医薬品使用増加に取り組んだ結果、新たな加算を取得することができました。

平成30年度以降も引き続き、これら加算の算定継続に向けて取組み、収益確保に努めます。

（2）経費の節減・抑制

ア 達成状況

項目	区分	目標	実績	達成状況		取組内容
		A	B	項目	達成率	
					$B/A \times 100$	
①他病院との比較材料費契約単価の見直し	事業	継続	継続	達成	100.0%	ベンチマークを活用し、単価の見直し及び安価製品への切替えを行った。
②単価契約と大量一括購入の併用	事業	継続	継続	達成	100.0%	包装単位の見直しを行い、スケールメリットによる経費の削減を図った。
③人員の適正配置	事業	実施	実施	達成	100.0%	病床の稼働状況や施設基準等に合わせて、人員配置の見直しを行った。

④後発医薬品 使用率の向上	本院	80% 以上	82.9%	達成	103.6%	薬剤部及び薬事委員会を中心に、使用率の高い薬品から順次切替えを行った。
	鳴子		84.6%	達成	105.8%	本院の薬事委員会との連携し、分院内でも後発医薬品の使用拡大を検討し、積極的に切替えを行った。
	岩出山		86.6%	達成	108.3%	本院の薬事委員会との連携し、分院内でも後発医薬品の使用拡大を検討し、積極的に切替えを行った。
	鹿島台		90.7%	達成	113.4%	本院の薬事委員会との連携し、分院内でも後発医薬品の使用拡大を検討し、積極的に切替えを行った。
	田尻		76.4%	未達成	95.5%	同種同効品への薬品切替を行った。

イ 結果（評価）

高度な治療の増加に伴い、高額医薬品や診療材料の使用量も増え、結果、材料費は増加傾向にあります。ベンチマークによる他病院との比較・分析結果を活用しながら、単価の見直しや安価製品への切替え等を行い、継続した材料費の節減に努めています。

人員の適正配置については、前述のとおり看護師を中心に、ライフイベントに伴う減員に対応するため、病床稼働の状況や施設基準等に応じて、部署間での配置見直しを有効的に行っています。

後発医薬品の使用率向上に向けては、使用量の多い薬品から切替えを行い、田尻診療所以外は目標の80%を超えており、引き続き、経費の節減、抑制に取り組みます。

（3） 民間的経営手法の導入

ア 達成状況

項目	区分	目標	実績	達成状況		取組内容
		A	B	項目	達成率	
					$B/A \times 100$	
①SPD（物品・物流管理システム）の導入	事業	継続	継続	達成	100.0%	在庫の適正管理を実施し、診療材料費の削減に努めた。平成29年度より薬品においてもSPDの導入を行い、薬剤費の削減に努めた。

イ 結果（評価）

SPD（物品・物流管理システム）の導入し、物流管理業務の簡素化、効率

化や在庫の適正管理に努めています。また、全国の医療機関とのベンチマーク等を活用しながら、診療材料費の削減に努めています。平成29年度からは、薬品においてもSPDの導入を行いました。引き続き、業務の効率化を図りながら、経費の節減、抑制に取り組みます。

(4) サービスの向上

ア 達成状況

項目	区分	目標	実績	達成状況		取組内容
				項目	達成率	
					$B/A \times 100$	
A	B					
① 病院広報誌の発行	事業	継続	継続	達成	100.0%	年4回(5月・8月・11月・2月)発行した。
② 市民向け病院事業広報誌の発行	事業	継続	継続	達成	100.0%	年4回(6月・9月・12月・4月)発行した。
③ ラジオによる広報	事業	継続	継続	達成	100.0%	毎週月曜日(7:35~7:40)放送した。
④ ウェブサイトを活用した情報発信の充実(流行性疾患の注意情報等)	本院	実施	未実施	未達成	0.0%	従来より病院ウェブサイトにてICTだよりを掲載し情報発信を行っていたが、より積極的な情報発信ができるようにウェブサイトの改修を行ったが、改修が年度末となったため、情報発信まで至らなかった。
⑤ 臓器別・疾患別センターの充実	本院	継続	継続	達成	100.0%	平成26年度の新築移転時に臓器別・疾患センターを導入し、診療の連携等継続して実施している。
⑥ リンパ浮腫外来の設置	本院	継続	継続	達成	100.0%	平成27年5月に外来を設置し、質の向上を図るため、平成29年度はチームを設置した。
⑦ 小児病棟への保育士の配置	本院	継続	継続	達成	100.0%	小児科の病棟へ常勤職員1名を配置し、入院中の療養支援を担当している。また、平成29年度より、NICUへ入院する方への支援として同胞預かり保育を開始した。
⑧ 退院支援部門の強化	本院	継続	継続	達成	100.0%	退院支援に関する体制の整備、地域医療機関等との円滑な連携を図った。

イ 結果(評価)

臓器別・疾患別センターの充実や小児病棟への保育士の配置など、診療や診

療行為に関連したサービスの向上に努めました。また、利用される患者さんや市民向け広報を発行し、病院の機能、医療情報をよりわかりやすく発信しました。

平成29年度より実施を目標としていた「ウェブサイトを活用した情報発信の充実（流行性疾病の注意情報等）」については、整備までは完了したものの情報発信まで至らず、目標を達成することができませんでした。今年度は早期から情報発信できるように担当部署との連携を図り、実施に向けて取り組みます。

（５） 業務の改善， 職員の意識改革

ア 達成状況

項目	区分	目標 A	実績 B	達成状況		取組内容
				項目	達成率	
					$B/A \times 100$	
① 看護師確保対策ワーキングによる活動	事業	継続	継続	達成	100.0%	毎月ワーキングを開催し、平成29年度は、10校の学校訪問やガイダンスに11回参加した。
② 6S活動	本院	継続	継続	達成	100.0%	部署ごとに取り組んだ内容の報告や6S委員会による院内ラウンドを11回行い6Sの推進を行った。
③ 東北大学大学院医学系研究科「宮城県北先制医療学講座」による医師の育成	本院	継続	未継続	未達成	0.0%	初期研修医に対し、進路に係る調査や専門医や大学院を対象とした説明会を実施したが、平成29年度は志望者がいなかった。今年度においては、説明内容の改善を図り、調査や説明会を実施する。
④ 病院機能評価の認定病院	本院	継続	継続	達成	100.0%	認定後における質の向上及び改善活動として、委員会を立ち上げ、継続的な活動を行った。
⑤ 人事評価制度の導入	事業	継続	継続	達成	100.0%	平成28年度から医師を除く職員を対象に継続して実施している。
⑥ 患者満足度調査の実施	本院	継続	継続	達成	100.0%	平成29年11月28日から12月25日の期間で患者満足度調査し、その結果を市民向け広報誌や院内掲示版（グループウェア）にて職員へ周知した。
⑦ 職員満足度調査の実施	事業	継続	継続	達成	100.0%	平成29年9月7日から20日の期間で職員満足度調査を実施した。

イ 結果（評価）

業務改善においては、平成29年3月に取得した病院機能評価の継続した取り組みとして、医療の質管理委員会を立ち上げ、質の向上及び改善に取り組んでいます。

東北大学大学院医学系研究科「宮城県北先制医療学講座」による医師の育成においては、平成29年度は志望者がいなかったため、目標の達成はできませんでした。平成30年度は初期研修医への説明会の充実を図り、志望者の確保に努めます。

4 経営の効率化 数値目標（新大崎市民病院改革プラン P21）

（1） 病院事業全体

ア 達成状況

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	79.2%	76.9%	△ 2.3%	未達成	97.1%
②一日平均患者数（入院）	585.7人	569.2人	△16.5人	未達成	97.2%
③平均診療単価（入院）	56,604円	58,636円	2,032円	達成	103.6%
④一日平均患者数（外来）	1,496.8人	1,454.1人	△ 42.7人	未達成	97.1%
⑤平均診療単価（外来）	17,208円	18,503円	1,295円	達成	107.5%
⑥経常収支比率	99.1%	101.3%	2.2%	達成	102.2%
⑦医業収支比率	90.0%	91.6%	1.6%	達成	101.8%
⑧給与費対医業収益比率	57.2%以下	53.7%	△ 3.5%	達成	106.5%

*新大崎市民病院改革プランでの数値目標は本院500床目標値のため、実績値も500床換算

（2） 本院

ア 達成状況

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	84.0%	82.5%	△ 1.5%	未達成	98.2%
②一日平均患者数（入院）	420.0人	412.5人	△ 7.5人	未達成	98.2%
③平均診療単価（入院）	70,183円	72,583円	2,400円	達成	103.4%
④一日平均患者数（外来）	1,096.0人	1,070.8人	△ 25.2人	未達成	97.7%
⑤平均診療単価（外来）	21,348円	22,949円	1,601円	達成	107.5%
⑥経常収支比率	99.9%	101.3%	1.4%	達成	101.4%
⑦医業収支比率	94.6%	96.3%	1.7%	達成	101.8%
⑧給与費対医業収益比率	51.4%以下	47.7%	△ 3.7%	達成	107.8%

*新大崎市民病院改革プランでの数値目標は本院500床目標値のため、実績値も500床換算

イ 結果（評価）

入院及び外来における一日平均患者数は、在院日数の短縮等により目標値を下回りました。しかし、数値目標における施設基準取得や高額医薬品や診療材料等の使用量増加に伴い診療単価が向上したため、収益は増加しました。また、収益同様、高額医薬品の使用量増加により、費用も増加していますが、経常収支及び医業収支ともに、目標値を大きく上回る結果となりました。目標を達成しなかった患者数等については、本院マネジメント会議等で情報共有を図り、平成30年度では目標を達成できるように努めていきます。

(3) 鳴子温泉分院

ア 達成状況

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	68.9%	57.6%	△11.3%	未達成	83.6%
②一日平均患者数（入院）	89.6人	74.9人	△14.7人	未達成	83.6%
③平均診療単価（入院）	22,822円	21,993円	△829円	未達成	96.4%
④一日平均患者数（外来）	72.6人	64.6人	△8.0人	未達成	89.0%
⑤平均診療単価（外来）	6,691円	6,920円	229円	達成	103.4%
⑥経常収支比率	96.2%	98.4%	2.2%	達成	102.3%
⑦医業収支比率	72.5%	63.2%	△9.3%	未達成	87.2%
⑧給与費対医業収益比率	96.6%以下	111.6%	15.0%	未達成	86.6%

イ 結果（評価）

入院患者数は、年々減少する傾向にあり、平成29年度は古川地域に回復期のリハビリテーションを行う病院が開院となった影響により、他医療機関から転院する患者が減少し、病床稼働率及び一日平均患者数は、目標値を下回りました。また、診療報酬の施設基準を満たさなくなったことから、回復期リハビリテーション病棟入院料の取り下げを行ったため、平均診療単価も目標より下回りました。

外来については、地域住民の高齢化による介護施設入所等から、特に内科の外来患者数が減少し、目標値を下回りました。

今年度においては、10月より病床適正化による再編計画に基づき、130床から80床へ縮小し、併せて人員の適正配置などを実施しながら、目標達成に努めます。

(4) 岩出山分院

ア 達成状況

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	75.4%	78.0%	2.6%	達成	103.4%
②一日平均患者数（入院）	30.1人	31.2人	1.1人	達成	103.7%
③平均診療単価（入院）	22,501円	23,939円	1,438円	達成	106.4%
④一日平均患者数（外来）	130.2人	125.1人	△ 5.1人	未達成	96.1%
⑤平均診療単価（外来）	5,806円	5,749円	△ 57円	未達成	99.0%
⑥経常収支比率	96.4%	101.6%	5.2%	達成	105.4%
⑦医業収支比率	62.2%	66.3%	4.1%	達成	106.6%
⑧給与費対医業収益比率	104.1%以下	99.1%	△ 5.0%	達成	105.0%

イ 結果（評価）

入院は、本院や他施設等との連携強化、効率的な病床運用を図り患者数の確保に努めました。また、入院基本料を13対1から10対1へ変更したことや病棟薬剤業務実施加算1等の、新たな施設基準を取得したことから、安定的に収益を確保し、目標を達成することができました。

外来は、かかりつけ医としての役割を果たすため、本院等の応援により診療体制の安定化を図っているが、一方、地域人口の減少に比例して患者数も減少している状況となっています。平成29年度は、患者数及び診療単価が目標値を下回り、新患の増加が課題と捉え、健診受入れ枠を拡大し、新患の増加に努めていきます。

経営面では、入院収益の増収や後発品医薬品の切替えにより薬品費が減少した結果、医業収支や経常収支が改善されました。

(5) 鹿島台分院

ア 達成状況

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	65.7%	72.3%	6.6%	達成	110.0%
②一日平均患者数（入院）	46.0人	50.6人	4.6人	達成	110.0%
③平均診療単価（入院）	20,756円	20,531円	△225円	未達成	98.9%
④一日平均患者数（外来）	154.5人	151.1人	△3.4人	未達成	97.8%
⑤平均診療単価（外来）	5,612円	5,776円	164円	達成	102.9%
⑥経常収支比率	93.6%	106.3%	12.7%	達成	113.6%
⑦医業収支比率	63.6%	67.6%	4.0%	達成	106.3%
⑧給与費対医業収益比率	104.1%以下	100.2%	△3.9%	達成	103.9%

イ 結果（評価）

入院は、本院からの転院が増加し、病床稼働率及び一日平均患者数は目標を達成することができましたが、外来は、応援医の減により一日平均患者数は減少しています。今年度は、7月より地域包括ケア病床の運用を始め、地域との連携の充実を図り、入院患者の確保に努めるとともに、地域のかかりつけ医機能を十分に発揮し、患者のサービスの向上を図ります。

(6) 田尻診療所

ア 達成状況

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率					
②一日平均患者数（入院）					
③平均診療単価（入院）					
④一日平均患者数（外来）	43.0人	41.0人	△ 2.0人	未達成	95.3%
⑤平均診療単価（外来）	5,699円	5,847円	148円	達成	102.6%
⑥経常収支比率	97.8%	101.9%	4.1%	達成	104.2%
⑦医業収支比率	35.9%	36.4%	0.5%	達成	101.4%
⑧給与費対医業収益比率	218.5%以下	208.7%	△ 9.8%	達成	104.7%

イ 結果（評価）

認知症外来への紹介が減少したことにより、内科の患者数の減少により一日平均患者数は目標を達成することができませんでした。本院との連携強化を図り、またかかりつけ医として役割等を地域へ広報し、患者数増加に努めます。

(7) 健康管理センター

ア 達成状況

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率					
②一日平均患者数（入院）					
③平均診療単価（入院）					
④一日平均患者数（外来）	0.5人	1.5人	1.0人	達成	300.0%
⑤平均診療単価（外来）	10,000円	8,278円	△1,722円	未達成	82.8%
⑥経常収支比率	85.0%	96.7%	11.7%	達成	113.8%
⑦医業収支比率	71.0%	82.0%	11.0%	達成	115.5%
⑧給与費対医業収益比率	73.2%以下	64.9%	△8.3%	達成	112.8%

イ 結果（評価）

健康診断等の受診者数は前年度より2,238人が増加となり、収益は目標値より39,000千円の増加となりました。また、1月～3月時の冬期限定メニューを新設し、収益を確保したことにより、収支比率が向上し、目標を達成することができました。今年度も引き続き予防接種や健診の種類を増加する等、サービス向上に努めます。

5 収支計画の達成状況

(単位：百万円)

	病院事業			本院		
	H 2 9 (決算見込)			H 2 9 (決算見込)		
	目標値	実績値	増減	目標値	実績値	増減
	(A)	(B)	(B-A)	(A)	(B)	(B-A)
総収益	23,202	23,952	750	19,743	20,362	619
医業収益	20,057	20,590	533	17,739	18,342	603
入院収益	12,002	12,090	88	10,759	10,930	171
外来収益	6,272	6,592	320	5,709	6,046	337
その他医業収益	1,783	1,908	125	1,271	1,366	95
医業外収益	3,043	3,257	214	1,928	1,941	13
特別利益	102	105	3	76	79	3
総費用	23,318	23,779	461	19,694	20,223	529
医業費用	22,278	22,488	210	18,751	19,054	303
給与費	11,468	11,061	△ 407	9,115	8,747	△ 368
材料費	5,239	6,092	853	5,061	5,929	868
経費	3,326	3,168	△ 158	2,647	2,518	△ 129
減価償却費	2,101	2,067	△ 34	1,796	1,771	△ 25
資産減耗費	30	14	△ 16	29	11	△ 18
研究研修費	114	86	△ 28	103	78	△ 25
医業外費用	1,030	1,053	23	933	974	41
特別損失	10	238	228	10	195	185

医業収支	△ 2,221	△ 1,898	323	△ 1,012	△ 712	300
経常収支	△ 208	306	514	△ 17	255	272
総収支	△ 116	173	289	49	139	90

資本的収入	989	972	△ 17	796	804	8
企業債	381	339	△ 42	295	280	△ 15
負担金交付金・他会計補助金	608	617	9	501	511	10
その他	0	16	16	0	13	13
資本的支出	1,831	1,770	△ 61	1,553	1,518	△ 35
建設改良費	501	442	△ 59	410	379	△ 31
企業債償還金元金	1,305	1,305	0	1,118	1,119	1
その他	25	23	△ 2	25	20	△ 5

資本的収支	△ 842	△ 798	44	△ 757	△ 714	43
-------	-------	-------	----	-------	-------	----

他会計繰入金（再掲）	3,124	3,413	289	2,030	2,145	115
収益的収入	2,516	2,796	280	1,529	1,634	105
資本的収入	608	617	9	501	511	10

5 収支計画の達成状況

(単位：百万円)

	鳴子温泉分院			岩出山分院		
	H 2 9 (決算見込)			H 2 9 (決算見込)		
	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	1,261	1,221	△ 40	790	808	18
医業収益	922	765	△ 157	488	507	19
入院収益	677	539	△ 138	248	273	25
外来収益	115	107	△ 8	184	175	△ 9
その他医業収益	130	119	△ 11	56	59	3
医業外収益	333	450	117	292	291	△ 1
特別利益	6	6	0	10	10	0
総費用	1,304	1,235	△ 69	809	785	△ 24
医業費用	1,271	1,210	△ 61	785	765	△ 20
給与費	891	854	△ 37	508	502	△ 6
材料費	57	52	△ 5	50	42	△ 8
経費	245	228	△ 17	131	126	△ 5
減価償却費	74	73	△ 1	94	93	△ 1
資産減耗費	0	1	1	0	0	0
研究研修費	4	2	△ 2	2	2	0
医業外費用	33	24	△ 9	24	20	△ 4
特別損失	0	1	1	0	0	0

医業収支	△ 349	△ 445	△ 96	△ 297	△ 258	39
経常収支	△ 49	△ 19	30	△ 29	13	42
総収支	△ 43	△ 14	29	△ 19	23	42

資本的収入	42	38	△ 4	51	46	△ 5
企業債	12	7	△ 5	19	13	△ 6
負担金交付金・他会計補助金	30	30	0	32	32	0
その他	0	1	1	0	1	1
資本的支出	63	60	△ 3	66	62	△ 4
建設改良費	12	8	△ 4	19	14	△ 5
企業債償還金元金	51	51	0	47	47	0
その他	0	1	1	0	1	1

資本的収支	△ 21	△ 22	△ 1	△ 15	△ 16	△ 1
-------	------	------	-----	------	------	-----

他会計繰入金（再掲）	344	451	107	280	272	△ 8
収益的収入	314	421	107	248	240	△ 8
資本的収入	30	30	0	32	32	0

5 収支計画の達成状況

(単位：百万円)

	鹿島台分院			田尻診療所		
	H 2 9 (決算見込)			H 2 9 (決算見込)		
	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	957	1,072	115	180	179	△ 1
医業収益	630	662	32	65	63	△ 2
入院収益	318	348	30	0	0	0
外来収益	211	211	0	52	50	△ 2
その他医業収益	101	103	2	13	13	0
医業外収益	324	407	83	115	116	1
特別利益	3	3	0	0	0	0
総費用	1,019	1,005	△ 14	184	176	△ 8
医業費用	990	980	△ 10	181	174	△ 7
給与費	656	663	7	142	132	△ 10
材料費	58	53	△ 5	3	4	1
経費	177	168	△ 9	31	32	1
減価償却費	95	93	△ 2	4	4	0
資産減耗費	1	1	0	0	1	1
研究研修費	3	2	△ 1	1	1	0
医業外費用	29	25	△ 4	3	2	△ 1
特別損失	0	0	0	0	0	0

医業収支	△ 360	△ 318	42	△ 116	△ 111	5
経常収支	△ 65	64	129	△ 4	3	7
総収支	△ 62	67	129	△ 4	3	7

資本的収入	31	25	△ 6	4	1	△ 3
企業債	11	5	△ 6	3	0	△ 3
負担金交付金・他会計補助金	20	19	△ 1	1	1	0
その他	0	1	1	0	0	0
資本的支出	52	47	△ 5	6	2	△ 4
建設改良費	14	8	△ 6	4	1	△ 3
企業債償還金元金	38	38	0	2	1	△ 1
その他	0	1	1	0	0	0

資本的収支	△ 21	△ 22	△ 1	△ 2	△ 1	1
-------	------	------	-----	-----	-----	---

他会計繰入金（再掲）	328	402	74	106	107	1
収益的収入	308	383	75	105	106	1
資本的収入	20	19	△ 1	1	1	0

5 収支計画の達成状況

(単位：百万円)

	健康管理センター		
	H 2 9 (決算見込)		
	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	271	310	39
医業収益	213	251	38
入院収益	0	0	0
外来収益	1	3	2
その他医業収益	212	248	36
医業外収益	51	52	1
特別利益	7	7	0
総費用	308	355	47
医業費用	300	305	5
給与費	156	163	7
材料費	10	12	2
経費	95	96	1
減価償却費	38	33	△ 5
資産減耗費	0	0	0
研究研修費	1	1	0
医業外費用	8	8	0
特別損失	0	42	42

医業収支	△ 87	△ 54	33
経常収支	△ 44	△ 10	34
総収支	△ 37	△ 45	△ 8

資本的収入	65	58	△ 7
企業債	41	34	△ 7
負担金交付金・他会計補助金	24	24	0
その他	0	0	0
資本的支出	91	81	△ 10
建設改良費	42	32	△ 10
企業債償還金元金	49	49	0
その他	0	0	0

資本的収支	△ 26	△ 23	3
-------	------	------	---

他会計繰入金（再掲）	36	36	0
収益的収入	12	12	0
資本的収入	24	24	0

【大崎市民病院(本院)】

(単位：百万円)

	H 2 7 (決算)	H 2 8 (決算)	H 2 9 (決算見込)		
	実績値	実績値	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	#REF!	19,595	19,743	20,362	619
医業収益	17,299	17,716	17,739	18,342	603
入院収益	#REF!	#REF!	10,759	10,930	171
外来収益	5,657	#REF!	5,709	6,046	337
その他医業収益	1,287	1,358	1,271	1,366	95
医業外収益	1,527	#REF!	1,928	1,941	13
特別利益	#REF!	#REF!	76	79	3
総費用	19,203	#REF!	19,694	20,223	529
医業費用	18,241	18,586	18,751	19,054	303
給与費	8,354	#REF!	9,115	8,747	△ 368
材料費	5,549	5,608	5,061	5,929	868
経費	2,423	#REF!	2,647	2,518	△ 129
減価償却費	1,822	#REF!	1,796	1,771	△ 25
資産減耗費	21	12	29	11	△ 18
研究研修費	#REF!	#REF!	103	78	△ 25
医業外費用	954	960	933	974	41
特別損失	#REF!	#REF!	10	195	185

医業収支	△ 942	△ 870	△ 1,012	△ 712	300
経常収支	△ 369	#REF!	△ 17	255	272
総収支	#REF!	#REF!	49	139	90

資本的収入	#REF!	798	796	804	8
企業債	#REF!	187	295	280	△ 15
負担金交付金・他会計補助金	#REF!	603	501	511	10
その他	#REF!	#REF!	0	13	13
資本的支出	#REF!	1,652	1,553	1,518	△ 35
建設改良費	#REF!	#REF!	410	379	△ 31
企業債償還金元金	#REF!	1,328	1,118	1,119	1
その他	#REF!	24	25	20	△ 5

資本的収支	#REF!	△ 854	△ 757	△ 714	43
-------	-------	-------	-------	-------	----

他会計繰入金(再掲)	#REF!	#REF!	2,030	2,145	115
収益的収入	#REF!	#REF!	1,529	1,634	105
資本的収入	#REF!	#REF!	501	511	10

【鳴子温泉分院】

(単位：百万円)

	H 2 7 (決算)	H 2 8 (決算)	H 2 9 (決算見込)		
	実績値	実績値	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	1,239	1,249	1,261	1,221	△ 40
医業収益	938	910	922	765	△ 157
入院収益	769	736	677	539	△ 138
外来収益	111	117	115	107	△ 8
その他医業収益	58	57	130	119	△ 11
医業外収益	267	334	333	450	117
特別利益	34	5	6	6	0
総費用	1,296	1,244	1,304	1,235	△ 69
医業費用	1,264	1,218	1,271	1,210	△ 61
給与費	884	857	891	854	△ 37
材料費	53	56	57	52	△ 5
経費	231	226	245	228	△ 17
減価償却費	80	76	74	73	△ 1
資産減耗費	14	1	0	1	1
研究研修費	2	2	4	2	△ 2
医業外費用	32	26	33	24	△ 9
特別損失	0	0	0	1	1

医業収支	△ 326	△ 308	△ 349	△ 445	△ 96
経常収支	△ 91	0	△ 49	△ 19	30
総収支	△ 57	5	△ 43	△ 14	29

資本的収入	65	70	42	38	△ 4
企業債	28	31	12	7	△ 5
負担金交付金・他会計補助金	37	38	30	30	0
その他	0	0	0	1	1
資本的支出	95	99	63	60	△ 3
建設改良費	28	29	12	8	△ 4
企業債償還金元金	65	69	51	51	0
その他	2	1	0	1	1

資本的収支	△ 30	△ 29	△ 21	△ 22	△ 1
-------	------	------	------	------	-----

他会計繰入金（再掲）	297	361	344	451	107
収益的収入	260	323	314	421	107
資本的収入	37	38	30	30	0

【岩出山分院】

(単位：百万円)

	H 2 7 (決算)	H 2 8 (決算)	H 2 9 (決算見込)		
	実績値	実績値	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	787	741	790	808	18
医業収益	498	488	488	507	19
入院収益	250	249	248	273	25
外来収益	191	181	184	175	△ 9
その他医業収益	57	58	56	59	3
医業外収益	272	244	292	291	△ 1
特別利益	17	9	10	10	0
総費用	785	786	809	785	△ 24
医業費用	762	766	785	765	△ 20
給与費	501	502	508	502	△ 6
材料費	48	46	50	42	△ 8
経費	118	124	131	126	△ 5
減価償却費	94	93	94	93	△ 1
資産減耗費	0	0	0	0	0
研究研修費	1	1	2	2	0
医業外費用	23	20	24	20	△ 4
特別損失	0	0	0	0	0

医業収支	△ 264	△ 278	△ 297	△ 258	39
経常収支	△ 15	△ 54	△ 29	13	42
総収支	2	△ 45	△ 19	23	42

資本的収入	48	79	51	46	△ 5
企業債	2	20	19	13	△ 6
負担金交付金・他会計補助金	46	59	32	32	0
その他	0	0	0	1	1
資本的支出	87	121	66	62	△ 4
建設改良費	2	19	19	14	△ 5
企業債償還金元金	84	101	47	47	0
その他	1	1	0	1	1

資本的収支	△ 39	△ 42	△ 15	△ 16	△ 1
-------	------	------	------	------	-----

他会計繰入金（再掲）	291	266	280	272	△ 8
収益的収入	245	207	248	240	△ 8
資本的収入	46	59	32	32	0

【鹿島台分院】

(単位：百万円)

	H 2 7 (決算)	H 2 8 (決算)	H 2 9 (決算見込)		
	実績値	実績値	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	966	966	957	1,072	115
医業収益	673	619	630	662	32
入院収益	376	337	318	348	30
外来収益	225	212	211	211	0
その他医業収益	72	70	101	103	2
医業外収益	264	345	324	407	83
特別利益	29	2	3	3	0
総費用	1,029	984	1,019	1,005	△ 14
医業費用	999	959	990	980	△ 10
給与費	666	637	656	663	7
材料費	62	56	58	53	△ 5
経費	173	168	177	168	△ 9
減価償却費	95	93	95	93	△ 2
資産減耗費	1	2	1	1	0
研究研修費	2	3	3	2	△ 1
医業外費用	30	25	29	25	△ 4
特別損失	0	0	0	0	0

医業収支	△ 326	△ 340	△ 360	△ 318	42
経常収支	△ 92	△ 20	△ 65	64	129
総収支	△ 63	△ 18	△ 62	67	129

資本的収入	106	69	31	25	△ 6
企業債	14	41	11	5	△ 6
負担金交付金・他会計	92	28	20	19	△ 1
その他	0	0	0	1	1
資本的支出	146	94	52	47	△ 5
建設改良費	14	39	14	8	△ 6
企業債償還金元金	131	54	38	38	0
その他	1	1	0	1	1

資本的収支	△ 40	△ 25	△ 21	△ 22	△ 1
-------	------	------	------	------	-----

他会計繰入金（再掲）	344	356	328	402	74
収益的収入	252	328	308	383	75
資本的収入	92	28	20	19	△ 1

【田尻診療所】

(単位：百万円)

	H 2 7 (決算)	H 2 8 (決算)	H 2 9 (決算見込)		
	実績値	実績値	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	173	167	180	179	△ 1
医業収益	62	61	65	63	△ 2
入院収益	0	0	0	0	
外来収益	57	56	52	50	△ 2
その他医業収益	5	5	13	13	0
医業外収益	107	106	115	116	1
特別利益	4	0	0	0	0
総費用	164	166	184	176	△ 8
医業費用	162	164	181	174	△ 7
給与費	132	131	142	132	△ 10
材料費	3	3	3	4	1
経費	24	25	31	32	1
減価償却費	3	3	4	4	0
資産減耗費	0	1	0	2	2
研究研修費	0	1	1	0	△ 1
医業外費用	2	2	3	2	△ 1
特別損失	0	0	0	0	0

医業収支	△ 100	△ 103	△ 116	△ 111	5
経常収支	5	1	△ 4	3	7
総収支	9	1	△ 4	3	7

資本的収入	5	11	4	1	△ 3
企業債	3	9	3	0	△ 3
負担金交付金・他会計	2	2	1	1	0
その他	0	0	0	0	0
資本的支出	7	12	6	2	△ 4
建設改良費	3	8	4	1	△ 3
企業債償還金元金	4	4	2	1	△ 1
その他	0	0	0	0	0

資本的収支	△ 2	△ 1	△ 2	△ 1	1
-------	-----	-----	-----	-----	---

他会計繰入金（再掲）	101	100	106	107	1
収益的収入	99	98	105	106	1
資本的収入	2	2	1	1	0

【健康管理センター】

(単位：百万円)

	H 2 7 (決算)	H 2 8 (決算)	H 2 9 (決算見込)		
	実績値	実績値	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	244	251	271	310	39
医業収益	197	207	213	251	38
入院収益			0	0	
外来収益		1	1	3	2
その他医業収益	197	206	212	248	36
医業外収益	43	44	51	52	1
特別利益	4	0	7	7	0
総費用	274	282	308	355	47
医業費用	263	275	300	305	5
給与費	135	150	156	163	7
材料費	8	9	10	12	2
経費	95	88	95	96	1
減価償却費	24	27	38	33	△ 5
資産減耗費	0	0	0	0	0
研究研修費	1	1	1	1	0
医業外費用	11	7	8	8	0
特別損失	0	0	0	42	42

医業収支	△ 66	△ 68	△ 87	△ 54	33
経常収支	△ 34	△ 31	△ 44	△ 10	34
総収支	△ 30	△ 31	△ 37	△ 45	△ 8

資本的収入	13	82	65	58	△ 7
企業債	13	72	41	34	△ 7
負担金交付金・他会計	0	10	24	24	0
その他	0	0	0	0	0
資本的支出	26	90	91	81	△ 10
建設改良費	26	70	42	32	△ 10
企業債償還金元金	0	20	49	49	0
その他	0	0	0	0	0

資本的収支	△ 13	△ 8	△ 26	△ 23	3
-------	------	-----	------	------	---

他会計繰入金（再掲）	12	21	36	36	0
収益的収入	12	11	12	12	0
資本的収入	0	10	24	24	0

地域医療構想を踏まえた病床適正化に向けた再編の進捗状況について

1 病床の再編計画について（新大崎市民病院改革プラン P25）

項目	計画			
	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度	2021年度
本院	500床	⇒	⇒	⇒
鳴子温泉分院	80床 一般病床40床 療養病床40床 新病院建設 基本計画等策定・ 基本設計	⇒ 新病院建設 実施設計・建設工事	⇒ 新病院建設 建設工事	40床 一般病床40床 (うち地域包括ケ ア病床10床設置) 新病院供用開始
岩出山分院	40床 一般病床40床 リハビリテーショ ン訓練室建設工事	40床 一般病床40床 (うち地域包括ケ ア病床10床設置) リハビリテーショ ン訓練室供用開始	⇒	30床 一般病床30床 (うち地域包括ケ ア病床10床運用)
鹿島台分院	58床 一般病床40床 (うち地域包括ケ ア病床10床設置) 療養病床18床	⇒	⇒	⇒

2 進捗状況について

(1) 鳴子温泉分院

ア 新病院建設の進捗

平成30年3月に、大崎市民病院鳴子温泉分院新病院建設プロジェクトチームを鳴子温泉分院内に設置し、同年6月に基本構想の最終案を取りまとめました。現在は、計画・設計等に市民の声を反映させるため、鳴子温泉地域住民とのワークショップ開催し、基本計画を策定を進めています。

(2) 岩出山分院

ア リハビリテーション訓練室整備の進捗

平成29年度に地域住民の理解を得て、リハビリテーション訓練室整備の基本方針、実施設計を策定しました。平成30年7月に建設工事の契約が完了し、8月より建設工事を着手しました。年度内の完了を予定しています。

イ リハビリテーション訓練室整備の概要

(ア) 目的 入院患者の在宅復帰の支援

(イ) 機能

理学療法士・作業療法士を配置し、入院患者を対象とした日常生活動作等の改善につながる質の高いリハビリテーション

(ウ) 施設内容

整備場所：病棟北側

階数：2（1階ピロティ）

増築部延床面積：438㎡程度（1階：172㎡，2階：266㎡）

居室内容：機能訓練室，指導室・評価室，スタッフ室

(エ) 配置予定スタッフ 理学療法士・作業療法士

(オ) 供用開始 平成31年度

(3) 鹿島台分院について

ア 地域包括ケア病床設置

平成30年7月より地域包括ケア病床10床を整備し、運用を開始しました。

イ 地域包括ケア病床設置の概要

(ア) 設置病床数 10床（個室2室，4床部屋2室）

(イ) 設置病棟 3階一般病棟

(ウ) 開始日 平成30年7月1日

(エ) 算定する入院料等 地域包括ケア入院医療管理料2

(4) 病床数の変更

新大崎市民病院改革プランの病床適正化に向けた再編計画に基づき、平成30年10月1日より以下のとおり病床数を変更します。

病院名	見直し前	見直し後
大崎市民病院	一般病床 494 床，感染症病床 6 床	一般病床 494 床，感染症病床 6 床
鳴子温泉分院	一般病床 <u>50</u> 床，療養病床 <u>80</u> 床	一般病床 <u>40</u> 床，療養病床 <u>40</u> 床
岩出山分院	一般病床 40 床	一般病床 40 床
鹿島台分院	一般病床 40 床，療養病床 <u>30</u> 床	一般病床 40 床，療養病床 <u>18</u> 床